

特集

郡山地方広域消防組合
発足50周年これからも
いのちと心を未来につなげる消防を
目指してまいります

組合発足50周年記念ロゴ

カラーは全部で5色!ぜひご覧ください!



組合発足50周年記念ロゴを制作しました

本組合では50周年を記念し、将来にわたって管内の安全・安心を災害から守る決意を込めて、全職員から記念ロゴのデザインを募集し、50周年記念ロゴを制作しました。

本組合のイメージキャラクター火まもり君をメインに、消防のイメージである放水活動の水の動きで50を描き、躍動感と爽やかさを表現したデザインとなっています。

メインカラーは水色とし、複数色を揃え組合ウェブサイト「火まもり君」の部屋で限定公開しています。

※ご利用の際はガイドラインをご確認下さい。

組合発足50周年記念動画を公開しています

出演・撮影・編集すべてが手作りの50周年記念動画を制作しました。消防の活動の様子だけでなく、組合の構成市町の名所の映像も取り入れた動画になっています。

「消防の力強さをPRするだけでなく、50年という歴史の中で、住民の皆さんと共に守ってきた2市2町の美しい景観や街並みを安全・安心のまま次の世代に引き継いでいくことを表現できれば」と話すのは総合プロデュースした田村消防署小野分署の坂下さん。

動画は組合発足50周年記念特設サイトまたは公式YouTubeチャンネルから見ることができます。



小野分署 坂下さん

組合公式ロゴタイプを制作しました

組合発足から50周年を節目とし、郡山地方広域消防組合の新たな価値を創造する一歩として公式ロゴタイプを制作しました。

子どもから大人まで読めるひらがなを使用することですべての世代に受け入れていただける優しさを、全体を長方形に収めることで消防の規律正しさを、“O”の部分に組合章を入れるデザインは変化の激しい時代についていく発想の柔軟さを表現しました。

今後もこのロゴタイプと共に広く消防を発信していきます。

こおりやま広域消防
KORIYAMA FIRE DEPT
SINCE 1973

組合発足から50年 数多くの災害を

昭和44年2月
磐光ホテル火災



平成7年11月
乾電池製造工場火災



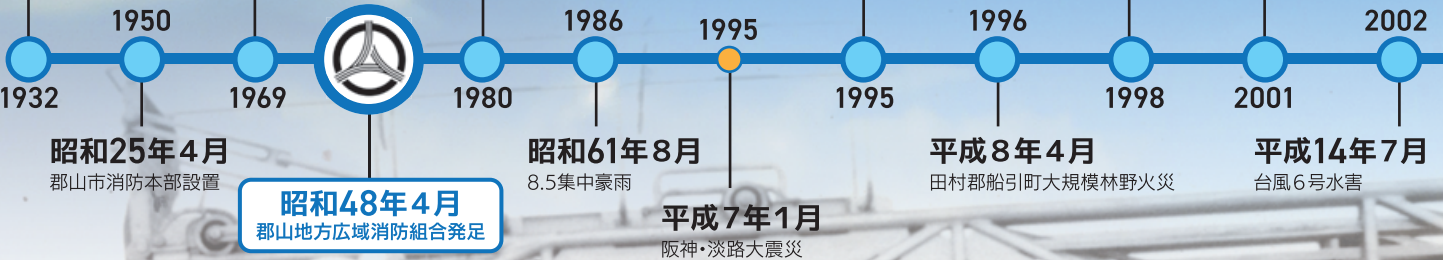
平成13年8月
メッキ製品工場火災



昭和7年4月
郡山市に常備消防部発足

昭和55年12月
クリスマス豪雪

平成10年8月
8月末豪雨災害



災害対応の多様なニーズに応える

昭和48年4月に職員数139人の体制でスタートした本組合は、その後消防力の充実強化と住民サービスの向上を図り、令和5年現在は職員数413人となっています。時代の変化とともに複雑・多様化する災害に対応するため、救助や救急など各分野ではより専門的な知識と技術が求められるようになっていきます。昭和49年に特別救助隊が発足し、装備の充実と救助技術の向上が図られ迅速かつ効果的な救助活動が可能となりました。

平成4年には初の救急救命士が配置され、静脈路の確保や、器具を用いた気道確保など、より高度な救命処置が実施されるようになりました。それぞれの分野では継続してスペシャリストが育成されており、現在では救助資格者及び救急救命士がいずれも100人を超え、現場で活動しています。さらに災害現場活動のみならず、消防行政の基礎となる査察業務や火災調査業務といった

予防分野においても専門的なスキルを持つスペシャリストの育成を推進しています。予防技術資格者の認定により、査察や検査の技術が向上し、消防法令違反対象物に対して是正に向けた効果的な指導ができるようになりました。住民の皆様が各施設を安全に安心して利用できるよう、今後も積極的に査察を実施し、事業所の皆様との防災意識の共有に努めてまいります。

平成30年には県内初となる火災調査専門部署を設け、火災原因究明率の向上により火災の原因や規模を正確に把握できるようになりました。このことによりタイムリーにかつ的確な火災予防の周知を図ることが可能となっています。



写真:火災調査



写真:消防用設備等の検査

より安全で迅速な活動のために

昭和から平成の初期では、消防隊の身体を完全に覆う防火衣ではありませんでした。複雑化する災害に対応するため、消防隊の身体を守り、運動性能の確保が必要とされるようになり、平成では、全身を保護できる防火衣になりました。令和5年から、より性能が強化された最新の防火衣を導入しています。



昭和50年頃



平成10年



平成20年～現在



令和5年
(3年かけて更新予定)

乗り越えてきました

組合発足50周年記念特設ページ

組合ウェブサイト内に特設ページを開設しました。



平成23年3月

東日本大震災



令和元年10月

令和元年東日本台風



令和2年7月

郡山市島2丁目爆発火災



平成16年10月

新潟県中越地震

平成22年7月

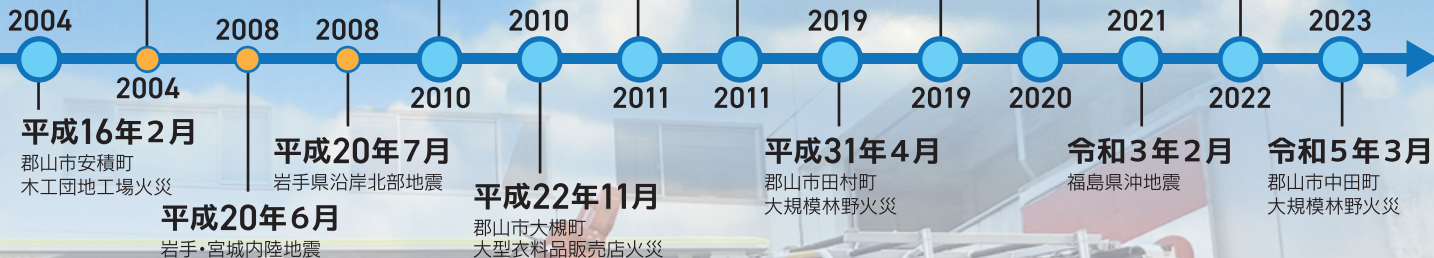
集中(ゲリラ)豪雨

平成23年9月

台風15号水害

令和4年3月

福島県沖地震



地域を越えて助け合う

過去半世紀にわたり、本組合は管内で発生した数々の困難な災害に住民の皆様とともに立ち向かい乗り越えてくることができました。同時に、県外で発生した大規模な災害にも緊急消防援助隊等として職員を派遣し、被災地の支援にも協力してきました。

本組合では福島県の中核を担う消防として災害に備え、住民の皆様への期待に応えるため、県内外の訓練にも参加し、積極的に知識と技術を習得しています。

他地域への緊急消防援助隊等の派遣実績

- 1995年(平成7年)1月 阪神・淡路大震災 救助隊10人派遣※左下写真
- 2004年(平成16年)10月 新潟県中越地震 緊急消防援助隊福島県隊として3隊10人派遣
- 2008年(平成20年)6月 岩手・宮城内陸地震 緊急消防援助隊福島県隊として24人派遣 ※右下写真
- 2008年(平成20年)7月 岩手県沿岸北部地震 緊急消防援助隊福島県隊として12人派遣



1995年(平成7年)1月 阪神・淡路大震災



2008年(平成20年)6月 岩手・宮城内陸地震